

【PS マガジン vol. 329】 3 月 26 日号「自転車の事故」

N I T E (ナイト) [独立行政法人製品評価技術基盤機構] 製品安全センター

=====

1. 自転車の事故

=====

【事例 1】

自転車で走行中、前輪がロックして転倒し、打撲を負った。

→前ホーク及びスポークに傷があり、前ホークは後方へ変形していることから、前輪に異物が巻き込まれて前輪がロックしたため、バランスを崩し転倒したものと考えられる。

【事例 2】

自転車で走行中、前輪が外れて転倒、軽傷を負った。

→被害者が前輪固定時に最終的な締め付けとして使用するクイックリリースのカムレバーを使用せず、調整ナットの締め付けのみで前輪を固定した状態で乗車していたことから、固定が緩んで前輪が脱落して転倒したものと考えられる。なお、本体前ホーク部には「車輪が確実に固定されているか確認する」旨の警告シールが貼付されていた。

【事例 3】

自転車で走行中、チェーンが外れて転倒し、左手指を負傷した。

→使用者がメンテナンスなどを行わず、チェーンがたるんだ状態で使用を続けていたことによって、走行中の振動でチェーンが外れ、バランスを崩して事故に至ったものと考えられる。取扱説明書には、「チェーンがたるみすぎていないか、錆びていないか」、「チェーン中央で約 1.5cm の遊びがあること。たるみすぎがあれば、販売店で調整を受ける。」と記載されていた。

~~~~~

### 【事例 1 の注意事項】

ハンドルに買い物袋、かばん、傘などをぶら下げていると、車輪に巻き込まれてロックし、そのまま滑走するうちにバランスを崩して転倒するため危険です。荷物はハンドルにぶら下

げたりせず、かごに入れてください。

【事例2の注意事項】

乗車前には必ず車輪やペダルに緩みやがたつきがないか確認してください。締め付けが不十分だと、走行中に緩んでくることがあります。また通信販売で自転車を購入すると、ペダルや車輪などが取り付けられていない状態で購入者の元に届くこともあり、その場合乗車前の最後の組み立ては購入者が行うこととなります。特にスポーツ車の車輪の取り付けには、クイックリリース方式が多く採用されており、事例にも挙げたように、最後にクイックリリースカムレバーを使用せず、調整ナットの締め付けのみで車輪を固定して事故に至ったものがあるため、注意が必要です。必ず、正しい方法で車輪を固定してください。組み立てに自信のない方は、自転車整備士（自転車技士、自転車安全整備士）のいる店舗に組み立てを依頼してください。

【事例3の注意事項】

自転車のチェーンは、走行するにつれ徐々に伸びて、たるみが発生します。走行中にチェーンから異音（金属がこすれるような音など）がする場合は、たるんだチェーンがチェーンケースなどに接触しているおそれがあります。乗車前の点検でチェーンが伸びすぎていないか確認しましょう。また、チェーンが伸びた際には、販売店などに相談してください。

■ 自転車に関する資料も併せてご参照ください。

（注意喚起ミニポスター（動画等））

<https://www.nite.go.jp/data/000004248.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000004819.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000004850.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000004870.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000065627.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000084769.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000090849.pdf>

その他の事故事例は、「事故情報の検索」で「自転車」をキーワードに検索していただけます。

<http://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/search/index.html>

=====

3. リコール情報

=====

◆ビーズ株式会社 (法人番号 6122001008822)

「自転車用ハンドル」 3/7 (HP)

詳細 : <https://www.be-s.co.jp/notice/2880>

【編集・発行】 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター リスク評価広報課

(法人番号 9011005001123)

<https://www.nite.go.jp/jiko/index.html>